

スクールきると カリキュラムの考え方 : (スクールビジョン)

2

スクール事業

【基本方針】
 スクール事業は、社会人（大人）となるための、**前期2年（生活訓練）**・**後期2年（就労移行支援）**の「**4年間**」のモラトリアム（準備期間）と位置付け、自立に向けた学習と就労への意欲・能力が高まるよう、障がい者の学びをサポートする。（※「**学びの場**」）

【テーマ】
 障がいのある人の「移行期」を支援します。学生の主体性を大事にし、「自分できめて実行する」ことをサポートします。

前期2年の学び（生活訓練）

- ・社会人を意識し、規則的に働くための基礎体力と集中力を身につける。
- ・スクールでの集団生活の中で、コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけ社会生活ができるようになることを目指す。
- ・仕事をすること、収入を得るためには何が必要なのかを理解していき、後期2年の学びに繋ぐ。

後期2年の学び（就労移行支援）

- ・前期2年で身につけた社会的スキルを基に、さらなる応用力を身につける。
- ・社会人としてのルールを学ぶ。
- ・企業等で様々な職種の実習を行いながら、自分に合った仕事を見つけ、自主的に進路を選べるようにする。
- ・就職に向けての準備・実践カリキュラムで、プロフィールシートや履歴書の作成、模擬面接を行い、就労に必要なスキルを身につける。

前期2年の学び（生活訓練）

一回生

- ①**基本メニューの反復訓練**
 - ・コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけるために、生活力、コミュニケーション、体力&リラクゼーション等のカリキュラムを反復して取り組む。
- ②**集中力の維持・増進**
 - ・集中力を維持・増進させるため、オン（登校・授業）とオフ（休み・休憩）の区別を習得する。
 - ・座学に集中して取り組めるよう、社会見学、レクリエーション等を取り入れ、カリキュラムにメリハリをつける。

二回生

- ①**基本メニューの反復訓練**
 - ・一回生での取り組みをそれぞれステップアップ（変化）させ、継続して取り組む。特に、コミュニケーション・生活力を中心に、積極性、自発性、主体性及び社会性が醸成される内容とする。
- ②**就労移行への動機付け**
 - ・年度後半は、後期2年（就労移行支援）を意識したカリキュラムを導入する。
 - ・社会見学を増やし、視野見識を広げる。

後期2年の学び（就労移行支援）

三回生

- ①**基本メニューの反復訓練**
 - ・前期2年の基本カリキュラムを基本とし、就労するための体力アップ、集中力の醸成を図る内容とする。（就労移行バージョン）
 - ・ワークサンプルによる作業体験やビジネスマナーの習得等、疑似体験学習に取り組む。
- ②**職場見学及び職場実習の導入**
- ③**資格取得のための学習への取り組み**（漢字・電卓他）
- ④**各種発表会・研修会への参加**（プレゼンテーション体験）
- ⑤**修学旅行**

四回生

- ①**基本メニューの反復訓練**
 - ・前期2年の基本カリキュラムを基本とし、就労するための体力アップ、集中力の醸成を図る内容とする。（就労移行バージョン）
 - ・ワークサンプルによる作業体験やビジネスマナーの習得等、疑似体験学習を通じ就労意欲を醸成する。
 - ・所内訓練（履歴書作成、面接体験等）
- ②**職場見学及び職場実習を通じ、就職活動に向けた意識づくりや準備への取り組み**
- ③**就職活動**
- ④**進路相談**

全学年共通課題

- ①**生活力の強化**
 : 金銭管理（現金、預金等）、身だしなみ、調理実習、保健（安全衛生、性教育等）に取り組む。
 ※預金（個人預金通帳により、教材費、リクリエーション、課外活動、卒業旅行等の必要経費を積み立て自己管理する。）
- ③**クラブ活動の導入**
 : アート、音楽（声楽、楽器演奏等）、書道、ダンス等により、緩やかな学びを提供する。

- ②**体力アップ&リラクゼーションの充実**
 : 体力づくり（ウォーキング、屋外スポーツ等）により、仕事ができるからだを作る。
 : リラクゼーションにより、オンとオフのを体感し、リフレッシュを図る。
- ④**課外活動**
 : 農業体験、自然体験等を通じ、集団行動による協調性及び社会性と豊かな感性を醸成する。

★ ★ ★ **カリキュラムの選択制**

学び直しシステム
 （※2回生～）

- ・基本メニュー（生活力、コミュニケーション等）は、個々の能力に応じて、再度学習（学年を超えた学び直し）できるシステムを導入する。
- ・スタッフと相談しながら、カリキュラムを選択する。